

まちのわだい

～カメラスケッチ～



ふるさと納涼花火大会

訓子府の短い夏を彩る

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に続き7月開催のふるさとまつりが中止になったことから8月15日、ふるさと納涼花火大会が開かれました。

夏の夜空を彩る約250発の花火は、町を大いに盛り上げ、観覧した方たちは短い夏のひとときを楽しんでいました。



姉妹まち・津野町へ交換留学

訓子府町の姉妹まち・高知県津野町に訓子府町の児童5人が、交換留学生として、7月24日から29日まで訪問しました。

訪問したのは、訓小6年の井幡莉香さん、上原優人さん、桜井翔馬さん、濱野大悟さん、居小6年の石神幸誠さん。

5人は出発前は緊張していたものの、受け入れ家庭や通学する小学校の児童とすぐに打ち解けて、交流を深め、たくさんの楽しい思い出を胸に帰町しました。



4団体が出演 音楽の広場を開催

第47回音楽の広場が8月22日、町スポーツセンターで開かれ、大正琴同好会だ・か～ぼや訓子府中学校吹奏楽部、オニオン吹奏楽団、訓子府小学校スクールバンドが出演しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、音楽を発表する場が減る中、出演者たちはこの日を楽しみに練習を続け、当日は、会場を訪れた方たちに美しい音色を届けました。



野生大麻撲滅



約1万6,000本を除去

町内に自生する大麻の集団抜き取り作業が、8月5日に行われ、北見保健所、警察、町職員など合わせて約40人が参加しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日は参加人数を例年よりも減らして実施しました。

参加者は猛暑の中、野生大麻を1本1本抜き取り、撲滅に向けて汗を流していました。

竹の子クラブ

子どもが物づくりの楽しさを実感するとともに、町に興味を持ってもらうことを目的として8月13日、「ガラクタファクトリー」が行われ、小学生5人が参加しました。

子どもたちは、町内の事業者を回り、仕事内容を勉強したほか、端材を分けてもらい、その端材で工作をしました。それぞれ個性あふれる作品をつくり、「疲れたけど、楽しかった」と満足した様子でした。

町内事業所で仕事内容を学ぶ



今月の一枚

町の素敵な瞬間を紹介しています。
今月は「麦乾ロール」です。

